

大先輩の村井司先生を偲ぶ

元大手前中高等学校校長 竹内 孝治



ついこの間の8月に、村井先生がお亡くなりになりました。大先輩の先生と再びお会いできないのかと思うと、悲しさで一杯です。思えば、昭和35年に初めてお会いしてから今日まで約45年間お世話になりました。

その間、特に昭和37年から昭和45年までは、同じ学年(16期生と19

期生)を担当し、同僚として、あるいは学年主任として私を本当にやさしく指導していただきました。それ以後の数年間も、教頭、校長として、私を暖かく見守ってくださいました。

先生が大手前中高から本部事務局に移られてからも、お会いするたびに声をかけていただきました。私自身が教頭、校長を務めている時は、評議員会や理事会でよくお目にかかれました。私が追手門学院を退職してからは、ご無沙汰がちになりましたが、毎年正月には年賀状をいただいたり、16期生や19期生の同窓会や、たまたまの学院関係の方のお葬式などでお会いできました。ちなみに、村井先生と最後にお会いしたのは阪本紋九郎理事の告別式の間でした。久しぶりのことで、1時間近く、二人っきりでお話することができました。まさか、それが先生との最後のお話になるとは夢にも思いませんでした。

村井先生は上司として最高の人だったと思います。心配りや心やり

がいきとどき、人の長所を見抜く力とそれを伸ばす方法を見つけるのに優れておられました。それに諸状況の判断が的確で、わかりやすく事情を説明していただけるので、私たちは安心して働けたように思います。今まで私は先生の悪口を聞いたことはありませんが、それも当然でしょう。

先生との思い出は数えきれません。19期生や21期生の修学旅行で北海道へ行った時、いっしょに「毛がに」をたくさん食べましたね。先生は私によく「おごつて」くれました。最初は上本町からのタクシー代でした。普段は市電で通っていたのですが、時々タクシーに乗せてもらいました。小学部の林先生と三人でタクシーに乗ったこともありましたね。先生が事務局長で私が副組合長の時、腹をわってボーナスの交渉をしたこともありました。中谷先生が校長で私が教頭だった時、理事だった先生が大手前中高のことをとても心配してくださっていたことも、よく思い出されます。何よりも忘れられないのは、先生が大手前中高の校長になられて「さあこれから大手前中高がよくなっていくぞ。」と希望に満ちていた時に、体調不良で急にお止めになった時のことです。私は信じられず、長い間何がなんだかかわからないような状態でした。今になって考えてみると、先生もその時どんなに残念だったことでしょうか。でもその時、事務局長としてそして追手門学院理事として先生らしさをフルに発揮されたのでよかったですよ。

最後に、先生が亡くなられた今となっては、ただ「長い間大変お世話になりました。本当に有難うございました。」と言えるだけです。

「村井先生、さようなら。」

平成17年10月16日

追 悼

村井先生謹んで哀悼の意を捧げます。

在りし日のお若かく颯爽とした先生のお姿は卒業し45年経った今でも鮮やかに目の奥に焼きついております。右も左もわからないやんちゃな私たちが時には厳しく時には優しくご指導いただき本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈り致します。

合掌

昭和40年卒業中学16期生

阿部仁子	岡 寛子	荻野瑠美	北口明孝	窪田好子	阪本和子
清水昭則	玉井慶子	中島健次	水野真美	渡辺麗子	他一同